

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食べてみてけらい～ん！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253

平成29年度白石産「新米」取り扱い中！ 「馬牛沼産直センター」、「小十郎の郷」、「羽山朝採り市」で白石産新米を取り扱っています！ 詳しくは、各直売所へお問い合わせください。

●11月の人気農産物
大根、ネギ、白菜、
菊芋、柿 など



羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00
11月12日(日)10:00～15:00 羽山祭開催！
●場所 犬卒都婆公会堂前
☎佐藤 ☎27-2115

軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00 新鮮野菜を安く販売！
●場所 すまゝひろば
☎四竈 ☎29-2451

青葉市直売所
月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中！ 各店とも月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、好きな新鮮野菜1点をサービスします。
※11月11日(土)は、農業祭出店のため臨時休業します。
①ポーチパーク内 毎週水・土曜日9:00～12:00
②本郷店(旧国道113号角田街踏切そば) 毎週水曜日9:00～12:00
③いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。
☎矢内 ☎25-2061


※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～
年末年始を除いて毎日9:00～18:00営業中！
●場所 福岡長袋字八斗蒔1
☎小十郎の郷 ☎22-0881
http://www.kojuro-sato.com



馬牛沼産直センター 毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00
「斎川米」をどうぞご賞味ください！
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近
☎馬牛沼産直センター ☎25-0520



バーバ工愛市
今月のオススメは、人気農産物のほか、リンゴ、ブドウ、甘柿、加工品、総菜、漬物など多数取りそろえています。
①白石店(城北町・あそびの森近く)
(バーバ工愛市のオレンジ色のほり旗が目印です！)
毎週水曜日9:00～12:00
②JAみやぎ仙南福岡支店構内店
毎週土曜日9:00～12:00
※11月11日(土)は、農業祭出店のため臨時休業します。
☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

小原いきいき直売所
11月末まで毎日10:00～15:00営業!(悪天候により休業あり)
●場所 小原材木岩公園内
☎高橋 ☎29-2269

「みやぎスマイル&スマイル スタンプラリー」に参加しています！

宮城県では、12月8日(金)まで県内の農産物直売所など(計145店舗)を巡るスタンプラリーを開催中！ 3カ所以上のスタンプを集めて応募すると、抽選で200名さまに「みやぎの農産物」(3千円相当)、5カ所以上では抽選で20名さまに「みやぎの特産品カタログギフト」(1万円相当)などが当たります。

おいしく楽しく地産地消！ 実りの秋を迎えたこの時期に直売所を巡り、旬のおいしい農産物を味わってみませんか？ 当協議会からは小十郎の郷、馬牛沼産直センター、小原いきいき直売所、バーバ工愛市が参加しています。



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸 歌壇 岩崎 聰之介 選

蚊取り線香腰にさげつつ雨後の庭しづくやばついで草むしりする 末吉アツ子
窓際に午後の日差しをうけながら雑巾つくるも小さき奉仕ぞ 佐藤喜和子
たらちねよお救し下され送り火が孫との花火で遅れてしまふ 高橋 政男
通りまで轢立てられ明日には花火も上るか大高山神社 佐藤 啓子
週ごとに主治医を訪ね向きあえばただそれだけ我が病消ゆ 門脇 貞造
スーパーの野菜売り場のカプト虫木切れととも二三百円とぞ 寺崎 悦子
遠く聞く音色やさしきオカリナに耳をすまして気持ち安らぐ 遠藤 舞
朝の散歩橋の上より城ながめ歩み出たせは虫の声する 高子うぶん
かの昔心ひかれし人の名をふと思ひ出づなつかしきメロディ 阿部はぎの
里芋の葉に宿りたる雨の玉かぜに吹かれりや 菅野ちさよ
もろく儂き

【評】一首目、作業のようすが伝わる。「やばついで」は白石地方の方言で、うつつうしい等の意味。効果的に使われている。
二首目、恵みを頂きつつ、少しずつお返しをするのだ。そんな毎日の一端を記す。
三首目、「たらちね」は枕詞から転用された語で、母の意。きつと待って下さった筈。

俳壇 山家 弘子 選

空き家の庭一面に芒かな 佐藤 啓子
訪れる人なき別荘大花野 沼田 啓火
聴き馴れぬ鳥声に醒め今朝の秋 藤多伊都子
油蟬ひときは高き雨後の空 末吉アツ子
知らぬ間に少女爪染め秋光る 平塚 冬晴
幻の如黒蝶の去りにけり 高子うぶん
野面積み城の石垣苔の花 星 明

【評】一句目、廃校の校庭にコスモスが咲き空には赤とんぼ。元氣な子らの声、運動会の笛太鼓が胸に響きわたる。たまらない寂寥感が、二句目、飽食物余りの時代、油断をすればたちまちメタボに。散歩・ジョギング・ストレッチ、対策は様々。献立に苦勞する奥様。三句目、週刊誌にフォーカスされ、辞任退任する政治家。政策論争よりマスコミ対策に奔走するという皮肉。平和な国ではある。

【評】一句目、国が空き家対策にのり出す位全国的に放置されているのであろう。掲げた句は、何年も手入れされない荒れ放題の庭は、秋になると芒野と化し、見るに耐えない思いなのであろう。
二句目、別荘は避暑地として、夏休み中は何処の別荘も賑やかだが、夏が終る頃はそれぞれ町に帰り森閑となる。秋になると別荘地は、色とりどりの秋の草花が乱れ咲き、蝶が舞い、赤とんぼが飛び交い、又、虫の大合唱でこの世の別天地となる。誠に夏だけでは勿体ない、この景を見せてあげたいと。
三句目、秋になると色々の小鳥が渡って来る。代表的なものに、鴨や鶴や椋鳥など。朝今までに聞いたことのない鳥の声に目が覚めた。もう小鳥が渡って来たのだと、心を躍らせる藤多さん。今朝の秋の季節がピッタリ。

柳壇 四電 英夫 選

笛太鼓消えた校庭赤とんぼ 村上 照夫
献立に工夫を凝らすメタボ腹 大野 文雄
与野党の敵はカメラと週刊誌 門脇 貞造
容赦なく列島荒らす暴風雨 湯川 川柳
長雨に除濕乾燥フル稼働 末吉アツ子
我が耳は年中夏日蟬しぐれ 阿部はぎの
飯装する歴史絵巻は夏の陣 星 明
ミサイルの通過我が家は高いびき 佐藤 啓子
あせらずにゆっくり登ろう八十路坂 菅野ちさよ
食卓にこぼれんばかり秋の幸 高子うぶん



将来の夢 み～つけた！
白石青年会議所が「ジョブキッズinしろいし」を開催



1_コーヒーの缶から指紋が浮かび出てくる。さあ誰の指紋かな？ 2_防火服を着て放水体験。水の勢いにびっくり！

9月30日、小学生がさまざまな職業を体験する「ジョブキッズinしろいし」(主催(公社)白石青年会議所)が、白石第一小学校で開催されました。小学4～6年生38人が4つのグループに分かれ、大工・電気配線などの建設業から、飲食・介護・タクシーなどのサービス業、さらには、警察・消防・自衛隊まで11の職種を体験。水道工事屋さんでは、実際に水道管をつないで蛇口から水を出してみたり、警察署では、コーヒーの缶に付けた自分の指紋を、鑑識が使う転写シートで指紋を採取して照合したり、お弁当屋さんでは、自分たちが食べるお弁当の盛りつけをしたりしました。参加した子どもは「将来パティシエになりたいので、お菓子屋さんでカスタードクリームを作れてうれしかったです」や「介護では車いすに乗る気持ちや押してあげる気持ちを考えることができて良かったです」と目を輝かせて感想を話していました。

公益社団法人白石青年会議所(以下白石J.C)創立45周年、誠におめでとうございます。白石J.Cは20～40歳のメンバーで構成され、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、白石市民春まつりや白石駅前盆踊りなどの地域振興事業、わんぱく相撲仙南場所などの青少年育成事業など積極的に地域貢献にかかわってこられました。
先日開催された「ジョブキッズinしろいし」は、白石J.C創立45周年記念事業として、子どもたちが将来の職業について考えるきっかけになるよう体験型の事業として行われました。仕事を労働としてとらえられるよう、体験後は模擬貨幣を労働賃金として受け取るシステムで、自分で働いて得た貨幣で昼食を買い求める姿は、とてもたくましく見えました。



山田市長をイメージしたキャラクター「やまゆう」くん